

# とよこま市議会だより

第145号



## 地域を結ぶ

## 第2伊勢道路開通！



USTREAM

You Tube

市議会では、USTREAM（ユーストリーム）やYouTube（ユーチューブ）による市議会インターネット放送を実施しています。生放送及び録画放送は、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末\*からアプリにより視聴できます。視聴方法等については市議会ホームページをご覧ください。

\*パケット通信料がかかります。

### 目次

第3回 定例会(9月4日～10月2日)

- ◆平成24年度決算の概要……………2
- ◆議案質疑 ……………3
- ◆各常任委員会……………3～5
- ◆審議した案件と結果……………6
- ◆一般質問……………7～10
- ◆インタビュー・編集後記、他……………11～12

# 『9月議会報告』

平成24年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定など議案17件と発議6件、請願4件等を審議しました。

## 平成24年度 決算の概要

平成24年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成23年度 実質収支	平成24年度 単年度収支
会計	A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計	11,640,733	11,237,154	403,579	18,186	385,393	395,321	△ 9,928
特別会計	国民健康 保険事業	3,308,000	3,215,143	92,857	0	92,857	△ 26,487
	介護保険事業	2,343,438	2,312,271	31,167	0	31,167	△ 2,267
	定期航路事業	560,402	560,401	1	0	1	△ 524
	特定環境保全 公共下水道事業	145,502	145,502	0	0	0	0
	住宅新築資金 等貸付事業	452	452	0	0	0	△ 219
	後期高齢者医療	435,127	431,103	4,024	0	4,024	1,295
	小計	6,792,921	6,664,872	128,049	0	128,049	156,251
合計 (一般+特別)	18,433,654	17,902,026	531,628	18,186	513,442	551,572	△ 38,130

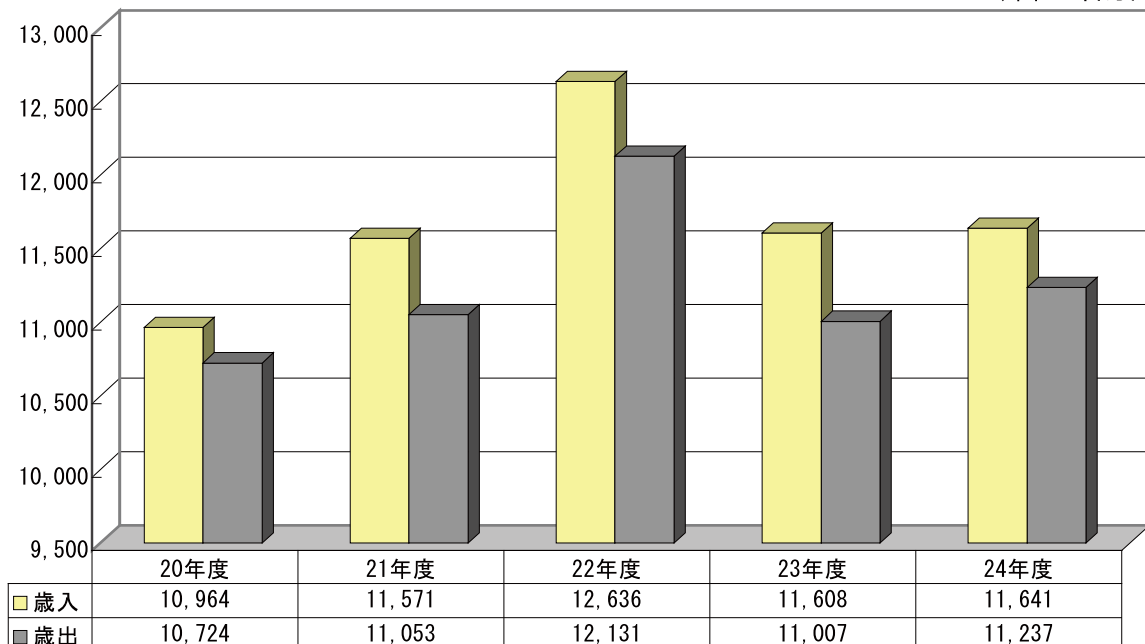
平成24年度の決算は、一般会計では実質収支が3億8539万3000円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では992万8000円の赤字となりました。

また、特別会計では、実質収支において国民健康保険事業で9285万7000円、介護保険事業で3116万7000円の黒字となっており、6事業の合計で1億2804万9000円の黒字となりました。

平成24年度における一般会計、特別会計の決算状況は左表のとおりです。

一般会計決算規模の推移

(単位：百万円)



# 議案質疑

## 合併浄化層の推進は

市長 しっかりと

増やしていきたい

世古 安秀

合併浄化槽普及啓発事業で、なぜ当初予算の1786万4000円から676万円の増額に至ったのですか。

環境課長 8月までの実績が、単独浄化槽や汲み取り槽から合併浄化槽への転換が多く、今後も増加が見込めるためです。  
市内業者の受注割合は、

環境課長 資格を有する事業者は8社で、受注割合は13%です。

鳥羽市の景観、自然、海を守るためには合併浄化槽は大事な事業です。どう進めていくのですか。

市長 二期目の公約どおり、しっかりと合併処理浄化槽を増やしていきたい。

## 決算は赤字か黒字か

企画財政課長

3億8500万の黒字です

戸上 健

24年度の市民に役立つ抜きんできた事業は。

市長 新規事業として、とばっ子子育て応援券、高校生の通学費の助成、これは全国的に見ても少ないと思います。定住応援事業も100万円にあげました。高齢者の生きいきお出かけ券、産業振興策として海藻の商品開発、森と海きずな事業、津波避難路は10倍ぐらいう算を増やしました。首都圏への誘客に力を入れた観光、教育環境の整備では加茂小の建設、相違保育所の移転をしました。

決算は黒字でしたが、赤字でしたか。

企画財政課長 実質収支額は3億8500万円の黒字でした。

## 補正予算の主なものは—

●市観光協会補助金	8600万円
●ふるさと納税推進事業	177万円
●合併浄化槽普及啓発事業	676万円
●在宅医療・介護連携推進事業	183万円

# 常任委員会報告

各常任委員会に15議案と4 請願が付託されました。

## 総務民生委員会

審査の主な内容は、

次のとおりです。

(議案第63号 鳥羽市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について)

問 この条例ができることにより、市民への対応はどう変わるのか。

答 平成22年に作成した行動計画もあるが、より迅速に市として対応し、対策を速やかに行なえるよう本部条例を制定した。

(議案第64号 鳥羽市市税条例の一部改正について)

問 個人市民税の公的年金からの特別徴収の見直しをするが、年金から特別徴収される税額はその人の課税額全体か。

答 特別徴収させて頂くのは年金収入に係る部分のみである。

(議案第65号 鳥羽市離島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例等の一部改正について)

問 対象となる設備の種類は。また、対象となる設備の取得価格下限度額が2700万円から引き下げられるが、影響額の試算は。

答 構築物、機械装置、船舶、車両等が該当し、課税特例の対象となる範囲は増えるが、償却資産である構築物などは来年以降にならないと把握出来ない部分も多く、今後調査することになる。

(議案第66号 鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について)

意見 資産割部分は所得がなくとも課税され、二重課税との批判もあるので以前も指摘したが、他市町も調査して検討するように。





## 予算決算委員会

審査の主な内容は、

次のとおりです。

(認定第1号 平成24年度鳥羽市  
一般会計及び各特別会計歳入歳  
出決算認定について)

### (一般会計)

問 人口減に歯止めをかけるべく  
実施している定住支援策が大幅  
に増額されたが、住宅購入だけで  
なくリフォームも加えるべきでは  
ないか。

答 補助要綱の見直しを検討し  
たい。

問 決算成果説明書に保育料で  
第二子以降無料部分が記載され  
ていないが、予算額はどれくらい  
か。

答 無料となっている保育料は  
約1300万円である。

問 第二子以降なら通所者1名  
でも無料と勘違いしている方も多  
いが、今後の対応は考えているか。

答 制度導入時に議論したが、再  
度検討したい。

問 医薬材料費が減少した理由は、

答 ジェネリック薬品が浸透して  
使用率が18%になったことが主な  
要因である。

問 鳥獣害対策事業で農業共済か  
らの補助制度はないのか。

答 今年から猪や鹿の駆除に対す  
る国の補助メニューが出来たので  
エントリーしたい。困いや電柵に対  
する補助についてはあります。

問 道路維持事業で約1000万  
円減額されたが、町内会要望はどれ  
位終わったのか。

答 平成24年度は、各町内会要望  
のうち75件を処理した。残りの件  
数は、約130件、金額にして約2  
億6000万円程である。

問 昨年度から実施された高校生  
就学支援事業の対象件数は、

答 対象者636名中、申請者2  
48名、交付決定者234名で却  
下理由は完納条件がない者がいた。

### (国民健康保険事業)

問 資格証交付世帯の子どもは  
どのように対応しているのか。

答 詳しい事情を聞いた上で、高  
校生までは6カ月証を出してい  
る。

### (介護保険事業)

問 保険料の激変緩和措置が取  
られたが、一般会計からの繰り入  
れなど、基準外ではどうしたのか。

答 3カ年の計画の中で歳入・歳  
出をみて判断し、基準外繰り入れ  
は行っていない。

(認定第2号 平成24年度鳥羽市  
水道事業会計決算認定について)

問 市の家庭水道料金が他市町  
と比べて高い理由はなにか。

答 市の地形に要素があり、海底  
送水管や加圧ポンプの使用など  
が主な要因と考えている。

補正予算審査も行い、提案など  
り可決しました。

## 討論

戸上 健 議員

《 反対 》

議案第64号 鳥羽市市税条例  
の一部改正について

## 人事

教育委員会委員の任命に同意  
江崎 ユミ 氏

公平委員会委員の選任に同意  
大川 千恵美 氏



市民大運動会

# 平成25年 第3回定例会 議員別表決結果

○：賛成 ×：反対 ー：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	戸	中	井	松	浜	木	坂	世	橋	坂	村	山	野	寺	
				上	古	村	井	口	下	倉	古	本	倉	山	本	村	本	
60	平成25年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号)	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
61	平成25年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
62	平成25年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
63	鳥羽市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
64	鳥羽市市税条例の一部改正について		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし
65	鳥羽市離島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
66	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
67	鳥羽市税外収入金に係る督促及び延滞金に関する条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
68	鳥羽市火災予防条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
69	市の区域内に新たに生じた土地の確認について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
70	字の区域の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
71	平成24年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
72	鳥羽志勢広域連合規約の変更に関する協議について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
73	教育委員会委員の任命について	9月13日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
74	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
認定1	平成24年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし
認定2	平成24年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
請願3	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
請願4	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
請願5	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
請願6	「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
発議7	特別委員会の設置について	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
発議8	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
発議9	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし
発議10	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
発議11	「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
発議12	「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	閉会中継続審査(調査)申し出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
報告3	平成24年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし	△														
報告4	平成24年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告5	平成24年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告6	平成24年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																	
報告7	一般財団法人鳥羽市開発公社及び財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																	

これが聞きたい  
ここが聞きたい

### 第3回定例会

# 一般質問

9月10日～11日に7人の議員が  
一般質問を行いました。  
質問と答弁の概要をお知らせします。

## 通学費補助額の見直しは 市長 現時点は過渡期です



戸上 健

鳥羽小学校へバスで通う小浜の子どもたちの定期券代はいくらですか。  
定期船課長 2万円です。

始発の小浜漁協前と6つ目の浜辺の料金は。定期船課長 同じです。

市の補助額も同じですか。教委総務課長 距離によつて違いますので違います。

料金は同じなのに補助額は違う。おかしいでしょう。教育長 教育委員会としては、保護者の皆さんの負担を考えたときに、全部同じにしたいと考えています。

市長 バスゾーン制を引いていますので矛盾が出ています。鳥羽市の

## 無年金者の救済を 市長 県の制度で対応したい

補助制度はかなり手厚くなつています。将来的には通学費は全額補助と言う方向になると思いますが、現時点は過渡期です。



元気に通学する子供達

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

25年の期間を満たせず無年金になっている市民は何人いますか。市民課長 114人です。

救済制度を活用している自治体もあります。鳥羽市も助けられませんか。市長 年金は国がしっかりと対応すべき問題ですが、県の福祉資金の貸付制度をできるだけ利用して対応していきたい。今後鳥羽市で必要であればしっかりと協議したいと思っています。

7



## 松尾町民への今のお気持ちは

市長 松尾町民へ心よりお礼と感謝



橋本 真一郎

広域清掃施設(やまだエコセンター)の稼働に伴い、鳥羽市清掃センター廃止に当たり、松尾町民への市長のお気持ちは。

市長 松尾町の皆様におかれましては鳥羽市清掃センターを開設以来33年間お世話になり、本市のごみ処理行政を支えて下さったことについて、心からお礼と感謝を申し上げます。

鳥羽市清掃センター業務終了までの工程は。

環境課長 平成26年3月末日をもって現在鳥羽市清掃センターで行っている焼却業務、破碎業務、埋立て業務は終了させていただきますが、より安心安全な施設として維持管理していくため、最終処分場雨水対策工事や



鳥羽市清掃センター

汚水処理施設の稼働は継続して行っていきます。また、リサイクル品の一時保管場所としてストックヤードの運営も行っていきます。  
市長 協力をしていただきました松尾町民の皆さんに市民を代表して御礼を申し上げます。

## 市水産研究所の移転の時期は

市長 平成27年度で何とか進めたい



世古 安秀

鳥羽市水産研究所の移転の時期は。

市長 平成27年度の建設か設計で何とか進めていきたい。

場所、事業費、規模は。

農工商課長 場所

については小浜漁港内。事業費は1億6000万円のうち、国から2分の1の補助を予定しています。施設は鉄骨平屋建ての管理棟及び倉庫300㎡、種苗生産棟300㎡、合計600㎡です。

この事業は「過疎債」の対象となりますか。

企画財政課長 なります。

今後、あわびを増やすために、中間育成を行うよう提案しました。

## 鳥羽市教育振興基本計画の策定は

教育長 平成28年度を起点にしたい

子どもたちに「なぜ学校に行って勉強するのか」と問われました。考えは。

教育委員長 人として生きていく為に必要な力をつけ、自らの力で選択決定し進路を切り開いていく力、これが学力です。この学力をつける為に学校に行き勉強します。

鳥羽市の児童・生徒の基礎学力向上を推進するためには、6年前に文部科学省から指導があった「鳥羽市教育振興基本計画」の策定が必要です。なぜ作らなかったのですか。

教育長 鳥羽市教育目標があり作っています。早急に策定できません。



志摩市ではすでに平成19年に教育振興ビジョンが策定されています

教育長 平成28年度を起点に考えていきたい。



## 少子高齢化と人口減対策は

市長 ふるさと鳥羽を愛する事です



井村 行夫

人口減、高齢化に伴い、これから定期船をどのように運営していくのですか。

市長 離島人口の減少に伴って定期船の利用者数が減少していく中で、離島住民の生活の足であることから、どうしても存続していくかなければならないものです。運営経費を考えたとき利用者数の推移を見ながら減便も含めて検討し、運賃に関しては市民が理解できないところまで赤字が増えた場合には、運賃を上げる事を考えなくてはならないが、できるだけ運賃を上げない



方向で頑張っていきたい。

中心市街地の取り壊された空き家からの町並み景観の悪さを

どう対処していくのですか。

まちづくり整備室副参事

景観条例を策定し、景観計画を作った後に、特定の地区を重点地区として、その地区特有の景観形成基準を盛り込み、基準を守っていたからこそにより良好な景観への誘導は可能であると考えます。市街地の活性化は住民と行政が一体となって目指す地域の姿を実現する強い思いがあり地域住民の活動、協力が、活性化に繋がるものと考えます。

他、次の質問をしました。

- ① 税収の見通し
- ② 離島架橋の今後
- ③ 野良猫等の現状と対処
- ④ 今後の教育環境と方針

## 補助金 2.7 億円による事業は

環境課長 回収処理、発生抑制対策事業に



浜口 一利

「海岸漂着物対策検討委員会」に漂流漂着ごみ削減対策として、補助金 2 億 7 0 0 0 万円が交付されたが、その事業の進捗状況を聞きます。

環境課長

「補助金交付要領」を県が策定して、本市で行う事業を調整しています。補助事業の実施期間は 2 力年で平成 25 年度分として 1 億 3 6 3 8 万円、26 年度分事業費 1 億 3 3 6 2 万円に振り分けられ、回収処理発生抑制対策事業に充てられます。発生抑制策は現状を知らせるポスター等の啓発活動になりがちですが、川岸に堆積しているごみの回収処理も抑制の方策だと思えますが。

環境課長 河川でのごみ回収は補助対象となりませんが、普及活動や環境教育の一環として事業に提案していきます。

漂着ごみの回収は、速やかに処理する体制を整えて頂きましたが、海岸に漂着した時点で被害が発生しています。漂流ごみの被害の状況も「海岸漂着物対策検討会」に現状を伝えてください。

環境課長

漂流ごみの回収は対象となっていないかもしれませんので、今後、要望を重ねていきます。

他に、海

岸堆積ごみの通年にわたる回収事業、ペットボトルの漂着が多いのでその削減策についても質問しました。



桃取漁港に漂着した漂流ごみの様子

## 農水産物直売所は公設市場型で

市長 すばらしい意見をいただいた



山本 泰秋

来年の夏、オープンと言っている。建設が計画されている「農水産物直売所」開設について、一般質問をしました。

特に、この直売所の開設について、市長は、これまで、この事業は「不転の決意」で取り組み、鳥羽市活性化の「起爆剤」にしたいなどと、強い意気込みを示しており、私も、逆に、この事業が成功しなければ、活性化の起爆剤どころか、一番街等との相乗効果どころか、同業者の足を引っ張ることになる。そうならない為にも、まず、しっかりとしたマーケティング計画等を行っていくことが、この事業、成功への第一歩という視点で質問を行いました。

①直売所の事業運営をして行く上での一番の要になるコンセプト(概念)も含めた「運営計画書」は出来ているのですか。



12年前にオープン、繁盛をする道の駅「萩しーまーと」(山口県)

農水商工課長 まだ、出来ていません。

②山口県の「萩しーまーと」をモデルに、観光市場的な直売所ではなく、地元産の鮮魚や野菜、精肉などの生鮮三品を取り揃える、かつての「公設市場的」な直売所にする事で、地元市民に喜んで使ってもらい、加えて、一番街等の同業者とのすみ分けもし易くなるのではないのでしょうか。

市長 すばらしい意見を頂いたと思います。

## 新ごみ処理施設への別ルートは

建設課長 広域連合との検討が必要です



村山 俊幸

(一)来年四月に、鳥羽志勢広域連合ごみ処理施設が事業開始するが、本市の財政負担はどの様になるのですか。

環境課長 26年度は約1億8700万円、27、28年度は約1億9500万円、29年度から元金償還が始まる事から約2億7500万円を見込んでいます。

(二)市の負担金は各市の利用割により算出される事から、松尾清掃センターの跡地利用も含め、事業系の生ごみ処理機の導入を積極的に考えるべきだと思えますが、その点はどうですか。

環境課長 生ごみ処理機の補助制度の推奨と生ごみの水切りの徹底など、少しでも持ち込む重量を制限し

たい。鳥羽市清掃センターの跡地利用については、取り壊しに国の三分の一の補助金交付の為にリサイクルセンター等の施設を考えていきたい。

(三)やまだエコセンターへの搬入ルートは、パイルロードの的矢インターからのみとのことですが、松尾・道仏間の山中橋から市道松尾山田線の拡幅、また、堅子町から磯部山田に抜ける市道の拡幅は考えませんか。

建設課長 志摩市との協議のもと、改良できるかどうか、ういふうに持つていくのか、広域連合での検討が必要だと思えます。



やまだエコセンターへの搬入ルート

## 議会改革推進特別委員会を設置しました

鳥羽市議会では、議会基本条例の施行や議会報告会の実施、議会のIT化の推進など、様々な議会改革を実施してきました。

今定例会において、議会改革推進特別委員会を新たに設置し、更なる議会改革を進めていくことになりました。

### 1. 調査項目

- 議会基本条例の見直し
- 議会改革の推進

### 2. 正副委員長及び委員

委員長 坂倉広子  
副委員長 井村行夫  
委員 議長を除く議員13名  
(正副委員長を含む)

### 3. 設置期間 調査終了まで

## 委員会行政視察

議会運営委員会では、次のとおり行政視察を行いました



大阪府大阪狭山市  
(通年議会について)

(通年議会について・  
大学とのパートナー  
シップ協定等について)

視察日  
8月18日～19日  
視察先  
滋賀県大津市

## 平成25年 12月定例議会(予定)

- 本会議開会 ……12月2日(月)
- 一般質問 ……12月6日(金)～10日(火)
- 議案質疑 ……12月11日(水)
- 総務民生常任委員会 ……12月12日(木)
- 文教産業常任委員会 ……12月13日(金)
- 予算決算常任委員会 ……12月16日(月)
- 本会議閉会 ……12月20日(金)

※会議日程は変更する場合があります。

年賀状の自粛申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。





今きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回は中部大学生命健康科学部准教授の戸田香さんです。

中部大学生命健康科学部准教授 **戸田香さん**

**プロフィール**

1967年生まれ。坂手町出身。理学療法士。  
2011年から中部大学の准教授として学生を指導。



**Q**

6月14日の朝日新聞に掲載された戸田准教授の記事(※)は、高齢者の暮らしについての内容でした。現在はどのようなお仕事をされているのでしょうか。

**A.** 春日井市にある高蔵寺ニュータウンで地域再生活動に取り組んでいます。具体的には、高齢者と大学生が一つ屋根の下で生活する世代間同居の推進や、世代を超えて人々が交流できる世代間交流会の企画・運営などです。

**Q**

記事によると坂手町ご出身とのことですが、外から見た現在の鳥羽の印象を教えてください。

**A.** 正直なところ、一番は人口の減少を感じます。当然のことながら高齢化も進んでいますね。ですが、変わらない町並みや美しい自然につつまれると、ほっと心が和みます。鳥羽は大切な美しい故郷です。

**Q**

最後に、鳥羽市民が元気になるようなメッセージをお願いします。

**A.** 鳥羽の街は道で会えば挨拶を交わし、お互いさまで助け合える。とても素晴らしいことですね。温暖な自然に抱かれた心の温さが、人の繋がり糸を紡いでいるのでしょう。鳥羽市出身だという事実は私の自慢です！

※朝日新聞朝刊 15ページ オピニオン「耕論 都市で老いゆく」

編集後記

とば市議会だより 第145号をお届けします。

今回、委員会メンバーが替って2回目の市議会だよりとなります。

第3回定例会は予算決算常任委員会のみなので記載する事項も多く、また、編集委員長不在のため委員会進行役を務めさせていたいただきましたが、議事のチェックに時間がかかりました。特に、一般質問者の原稿には気をつけました。

また、例年に続き議会報告会を各地で

させていただきますので、よろしくご参加をお願いして編集後記とさせていただきます。

記 井村行夫

「とば市議会だより」  
編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 寺本 春夫 |
| 副委員長 | 井村 行夫 |
| 委員   | 中世古 泉 |
| 委員   | 松井 一弥 |
| 委員   | 坂倉 広子 |
| 委員   | 坂倉 紀男 |
| 委員   | 野村 保夫 |

